

平成31年度の主な重点取組と結果

生活習慣病	栄養・生活	身体活動・運動（※1）
<p>①健(検)診受診率向上への対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団健診の日程増 ・メディア活用、大腸がん精検未受診者勧奨 →受診者数 維持 <p>②重症化予防事業の見直し・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規に肥満、糖、脂質、虚血性心疾患を対象にした保健指導を実施 →保健指導介入者の約4割が所見改善 →有所見者の2割が翌年度健診未受診 	<p>①男性に届く啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所健康管理担当者会議での検討 ・事業所健康管理者研修会の開催(県) ・事業所等男性向け出前講座 →7回 参加者数195人（予定含む） <p>②一般健診（39歳未満）結果BMI 30以上の者への事後指導強化</p>	<p>①運動習慣定着への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、団体等への出前講座 →37回 参加者数965人 ・各種運動教室の開催 →地区運動教室 1か所増 <p>②プール開設に向け運動環境の整備</p>
休養・こころの健康	飲酒・喫煙	歯・口腔の健康
<p>①児童生徒への自殺対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭、相談支援従事者等への研修会開催 →1回 参加者数64人 <p>②ひきこもり支援の取組を開始</p> <ul style="list-style-type: none"> →講演1回 参加者数260人 	<p>①地区、高校文化祭等イベント時、飲酒・喫煙の害を啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> →3回 参加者数284人 →出前講座 3回 参加者数 63人 <p>②受動喫煙防止への取組啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> →広報、HP掲載 	<p>①歯周病検診受診勧奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・36歳と51歳 未受診者への再勧奨通知 結果：36歳 受診者数3人（0.83%） 51歳 受診者数38人（7.51%）

第2次健康いといがわ21 ~健康寿命の延伸に向けて~

平成30年度進捗状況評価より(全体像)

<p>生活習慣・環境</p>	<p>✖メディア環境の悪化</p> 	<p>○生活習慣の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳未満の喫煙率減少 ・十分な睡眠がとれている者の割合(△) ・1日30分以上の運動をしている者の割合 ・特定健診受診率、特定保健指導実施率 ・事業所における健康管理体制の検討が始まっている <p>✖悪化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食を週3回以上欠食する者の割合(39歳未満、40歳以上女性) <p>△不安?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診未実施事業所 50人以上事業所の3割 ・特定健診重症化予防対象者の3割が翌年度健診未受診 	<p>○生活習慣の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日30分以上の運動している者の割合 ・十分な睡眠がとれている者の割合 ・歯周病検診受診率 <p>✖悪化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高年の喫煙率が横ばい~増加 	
<p>乳幼児~思春期</p>		<p>成人期</p>		<p>高齢期</p>
<p>健康実態</p>	<p>✖小学生の高度肥満の増加</p> <p>○3歳、12歳児のむし歯状況改善</p>	<p>✖健診結果の悪化</p> <p>高血圧、肥満、脂質異常症、肝機能低下</p> <p>塩分摂取過多</p> <p>✖医療費増加</p> <p>高血圧、脳血管疾患医療費</p>	<p>○新規要介護認定率は微増</p> <p>✖認知症有病率が高い</p> <p>✖死亡増加、県平均上回る</p> <p>胃がん(女性)、脳血管疾患、虚血性心疾患(女性)</p>	

第2次健康いといがわ21 ~健康寿命の延伸に向けて~ 次年度に向けての重点課題と対策

重点課題	対策
<p>① 高血圧、脳血管疾患の発症、悪化が多い 認知症の発症、要介護状態へのリスクも高くなる脳血管疾患の有病率、医療費ともに県平均を上回り、死亡率の減少が鈍化。 また、脳血管疾患は若年者の発症、死亡も多く、その要因となる血圧、脂質、肥満等の有所見者が成人期から増加している。</p> <p>② 健(検)診未受診者の重症化 重症化してしまうがん、脳、心、腎疾患による死亡ケースの過去の受診歴調査 (H30) 結果、健(検)診未受診者が大多数。また、早期発見による予防が可能な女性の胃がん死亡率が増加。 特定健診においても、有所見者の約2割が健診を継続されておらず、悪化につながる恐れがある。</p> <p>③ 社保加入者世帯の健康管理、健(検)診受診後の保健指導が徹底されていない</p>	<p>< 集団に対する啓発 ></p> <p>① 若年者・高血圧対策を重点にした生活習慣病予防の啓発 (減塩対策強化)</p> <p>② 健(検)診受診率の向上</p> <ul style="list-style-type: none">・受けやすい健診体制の整備・がん検診未受診者実態調査(アンケート) …新規・事業所へのがん検診の啓発 …新規 <p>< 重点対象者への保健指導 ></p> <p>① 健診結果からの重症化予防事業の継続</p> <p>② 未受診者、精検未受診者対策の強化</p> <p>③ 事業所健診結果の活用、重症化予防対策についての検討 (事業所、産保センター、医療機関等との連携)</p>